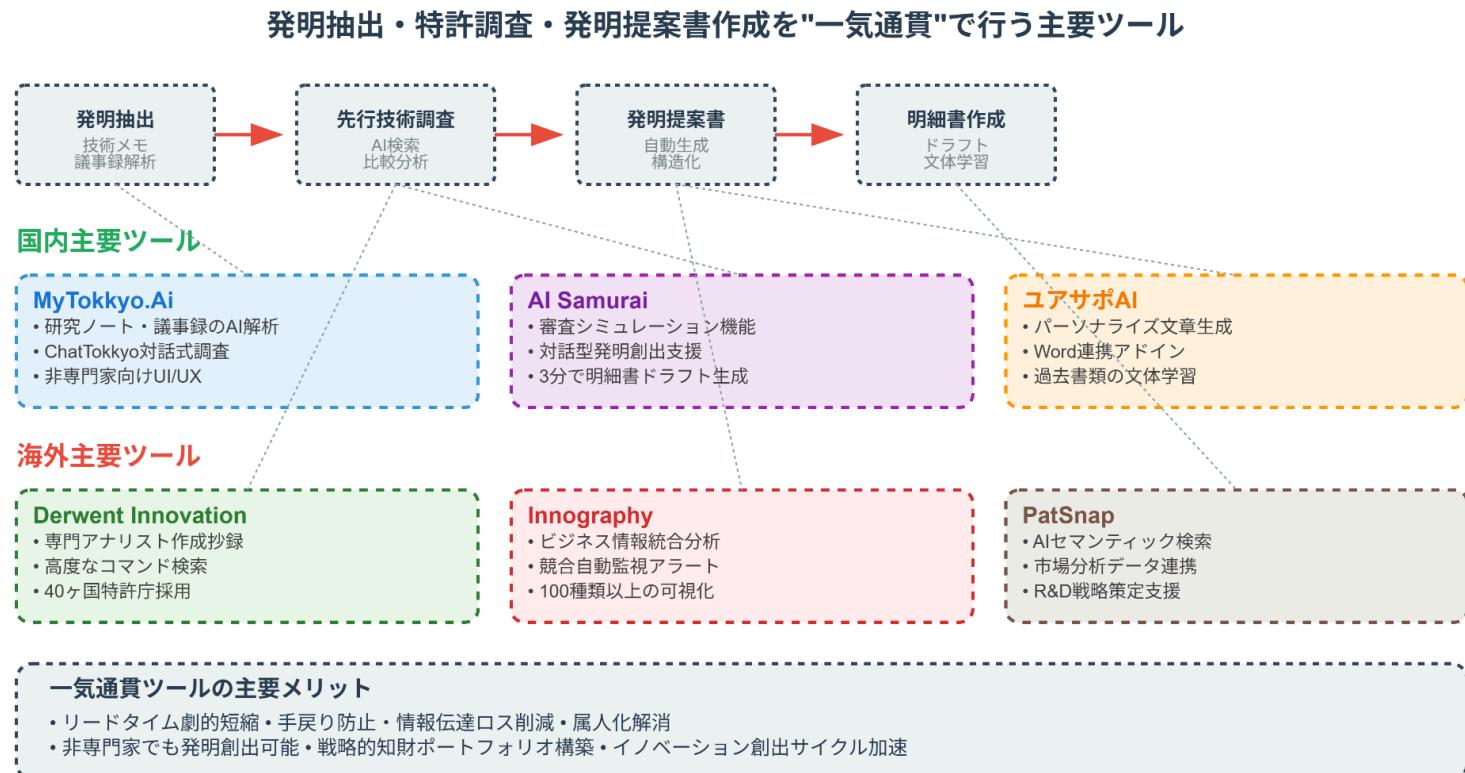


発明抽出・特許調査・発明提案書作成を“一気通貫”で行う 国内外主要ツールを徹底的に調べて

Felo AI



概要

AI技術、特に生成AIの進化は、従来分断されがちであった「発明抽出」「先行技術調査」「発明提案書作成」という一連の知的財産業務を、シームレスに連携させる「一気通貫型」ツールを生み出しています。これらのツールは、技術メモや議事録といった日常的なドキュメントから発明の種を自動的に抽出し、AIによる高精度な先行技術調査を経て、構造化された発明提案書や特許明細書のドラフトまでを高速で生成します^{9 21 32}。

国内では「MyTokkyo.Ai」や「AI Samurai」が非専門家から専門家までを対象に、対話形式での発明創出支援や審査シミュレーション機能を提供しています²⁹。また、「ユアサポAI」は過去の出願書類を学習し、各企業や事務所特有の文体を反映した高

品質なドラフト作成に強みを持ちます²⁶。海外では、Clarivate社が提供する「Derwent Innovation」や「Innography」が、専門家による質の高い要約データや強力な分析・可視化機能を用いて、より深いIPインテリジェンスを提供しています^{15 25}。これらのツールは、単なる業務効率化に留まらず、研究開発者が自身のアイデアの価値を即座に評価し、知財化のプロセスを主体的に進めることを可能にすることで、イノベーションの創出サイクルそのものを加速させています^{21 33}。

詳細レポート

AIによる知財業務の変革と「一気通貫」の重要性

従来の知的財産業務は、発明者によるアイデアの言語化、知財担当者によるヒアリングと発明内容の具体化、先行技術調査、そして出願書類の作成といった複数のフェーズに分かれており、各工程で専門知識と多大な時間を要していました³³。このプロセスの分断は、手戻りの発生や情報の伝達ロス、属人化といった課題を生む一因となっていました。

しかし、近年のAI技術、特に自然言語処理(NLP)と生成AIの発展は、この状況を大きく変えつつあります。AIは、構造化されていない技術メモや会議の議事録から発明の核心となる「課題・解決手段・効果」を自動で抽出し、整理することが可能です^{8 9}。さらに、セマンティック検索やAIとの対話を通じて、キーワード検索だけでは見つけにくかった関連性の高い先行技術を迅速に特定します^{1 9}。

これらのプロセスを「一気通貫」で行うことの最大のメリットは、発明の着想から出願準備までのリードタイムを劇的に短縮できる点にあります^{26 32}。情報が一元管理されることで、各フェーズ間での認識の齟齬が減り、発明者と知財担当者、弁理士間のコミュニケーションも円滑になります。結果として、より質の高い発明を効率的に生み出し、権利化へと繋げることが可能になります。

国内主要ツールとその機能

MyTokkyo.Ai(リーガルテック株式会社)

「誰もが発明者になれる」時代を目指し、研究者や技術者など知財の非専門家でも直感的に利用できるプラットフォームです²¹。日常業務で作成される多様なドキュメントを知財創出の起点とします。

- 発明抽出: 研究ノート、技術メモ、議事録などをアップロードすると、AIが内容を解析し、発明の核心や独自性のある部分を自動で抽出・整理します^{9 21}。これにより、埋もれていた発明の種を発掘します。
- 先行技術調査: AIエージェント「ChatTokkyo」とのチャット形式で調査を進めることができます³。抽出した発明内容に基づき、AIが関連特許を提示し、自社の技術との比較分析表をわずか数秒で作成することも可能です⁹。
- 発明提案書作成: 調査結果を踏まえ、AIが「発明届」や「発明提案書」のフォーマットに沿った依頼文を自動で生成します^{8 41}。権利化を視野に入れたアドバイスも提供し、アイデアのブラッシュアップを支援します⁹。

この技術を特許出願するときに、権利範囲を広げるためのバリエーション展開を考えてください。



以下は、誤出荷防止AIシステムの特許出願時に権利範囲を広げるためのバリエーション展開案です。

バリエーション展開案

1. 修正専用ステーションの多機能化

- 修正専用ステーションに、誤出荷修正以外の機能(例:品質検査、ラベル再印刷、梱包補強)を追加する。

2. 履歴ログの活用範囲拡大

- 履歴ログを単なる保存だけでなく、AIによる分析や予測に活用し、誤出荷の未然防止や作業効率化に寄与する仕組みを含める。

3. 修正プロセスの柔軟性向上

- 修正プロセスを自動化するだけでなく、手動修正とのハイブリッド方式を採用し、異なる規模や種類の倉庫に対応可能なシステムとする。

4. 誤出荷検出技術の多様化

- ラベル照合以外にも、重量センサー、画像認識、RFIDタグなどを組み合わせた誤出荷検出技術を含める。

5. 再投入プロセスの最適化

- 再投入時に、商品の優先順位や配送スケジュールを考慮した動的な再配置アルゴリズムを導入する。

6. モジュール化設計

- システム全体をモジュール化し、特定の機能(例:修正専用ステーション、履歴ログ管理)を個別に導入可能な構成とする。

7. 異常検知の高度化

- 誤出荷だけでなく、異常な作業パターンや機器の故障を検知する機能を追加する。

8. クラウド連携

- 履歴ログや修正プロセスをクラウド上で管理し、複数の倉庫間でデータを共有・活用できる仕組みを含める。

9. モバイルデバイス対応

- 修正プロセスや履歴ログの管理を、スマートフォンやタブレットなどのモバイルデバイスから操作可能にする。

10. エコシステムの構築

- サードパーティ製の誤出荷防止ツールやソフトウェアと連携可能なAPIを提供し、システムの拡張性を高める。

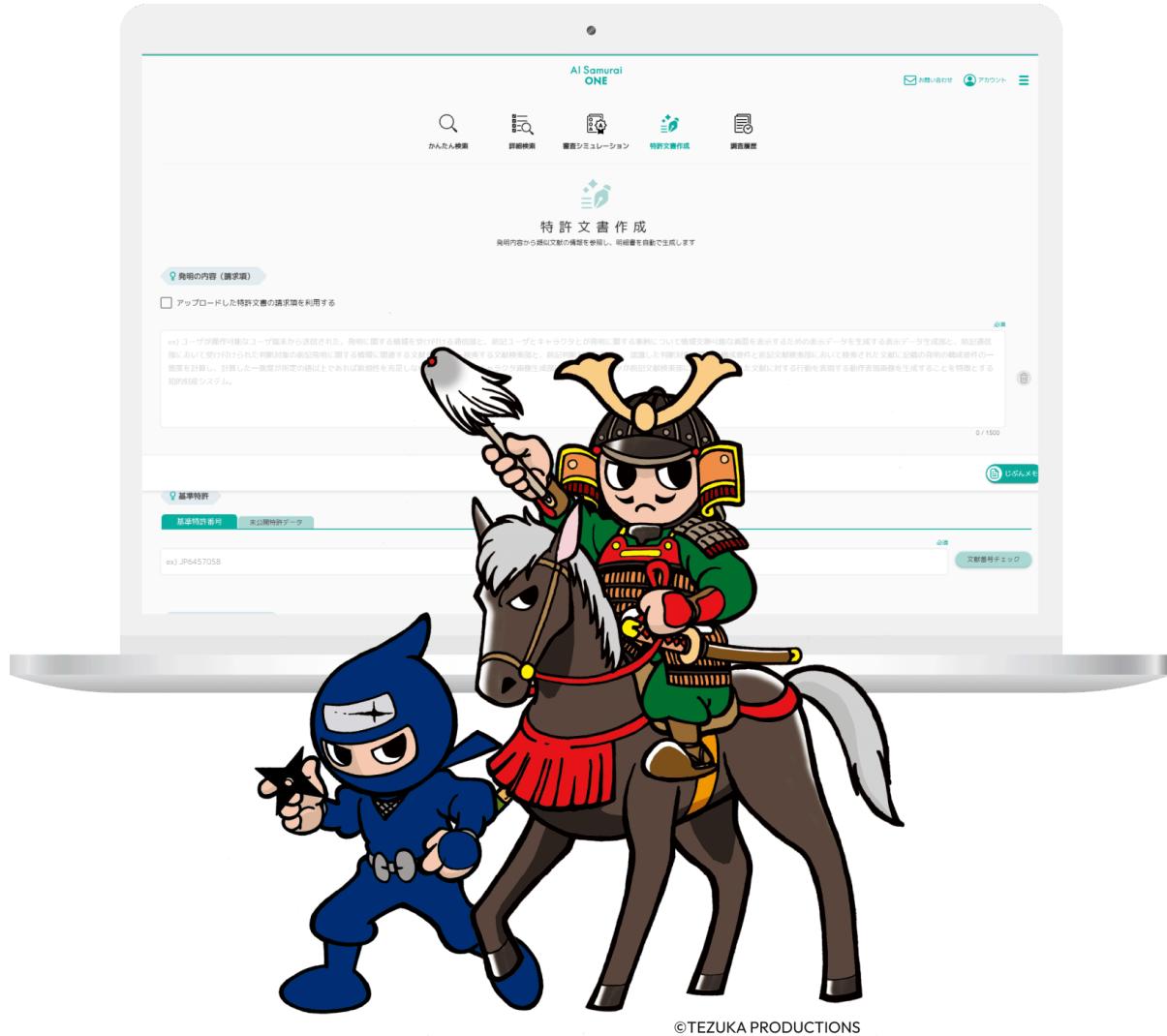
これらのバリエーションを請求項に盛り込むことで、権利範囲を広げ、競合他社の模倣を防ぐとともに、技術の応用可能性を高めることが期待されます。



AI Samurai(株式会社AI Samurai)

大阪大学と北陸先端科学技術大学院大学の研究成果を基に開発された、発明創出支援システムです²。調査から書類作成までを包括的にサポートします。

- 発明評価・調査: IPランドスケープを活用し、関連する特許群を俯瞰的に調査・分析します²。最大の特徴は、入力した発明アイデアに対して、AIが類似文献の評価や国際特許分類(IPC)の妥当性を評価する「審査シミュレーション」機能を持つ点です²。
- 特許文書作成: 対話型システム「AI Samurai ZERO」では、AIが発明者に質問を繰り返すことで発明の要素を引き出し、その回答内容を特許文書の形式に自動で落とし込みます⁸。このプロセスを通じて、約3分で明細書のドラフトを生成することができます²。



ユアサボ^{AI}(株式会社ユアサボ^{AI})

特許明細書作成の工数削減に特化したツールで、弁理士や企業の知財担当者の業務を強力に支援します²⁶。

- 一気通貫のドラフト生成: 発明提案書やメモをアップロードすると、AIが内容を分析し、「請求項」「図面(符号の自動付与含む)」「明細書」のドラフトを4つのステップで高速に生成します^{26 45}。
- パーソナライズされた文章生成: 最大の特徴は、各特許事務所や企業が過去に作成した出願書類をAIに学習させることで、独自の文体や専門用語、表現の癖を反映した、まるで"担当者自身が書いた"かのような自然で高品質な文章を生成できる点です²⁶。
- 高い実用性とセキュリティ: Microsoft Wordのアドインとして提供されるため、既存のワークフローを大きく変更することなく導入できます²⁶。また、生成された文書はローカルPCにのみ保存され、AIモデルの学習に利用されないため、機密情報を安全に取り扱うことができます²⁶。

【発明の名称】 充電装置およびその熱管理システム

【技術分野】

[0001]
本発明は、筒状筐体内部に熱分離構造と受動冷却システムを備えた充電装置に関する。

+ 段落を追加

【背景技術】

[0002]

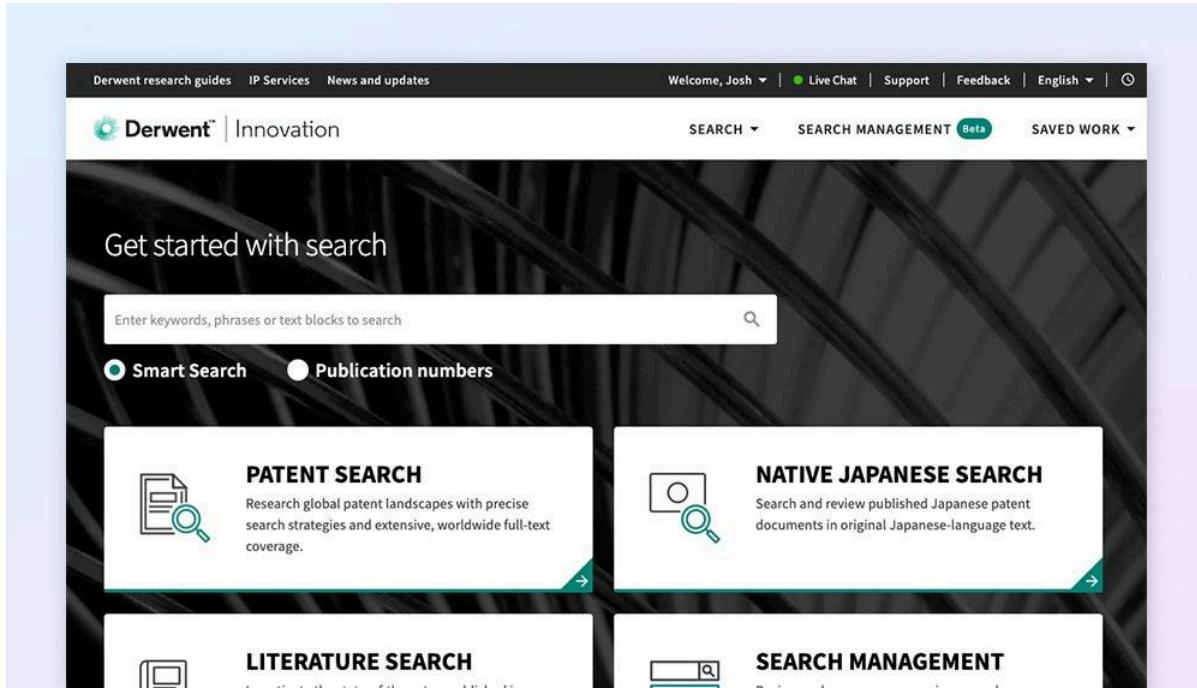
海外主要ツールとその機能

Derwent Innovation (Clarivate)

世界40以上の特許庁で利用されている信頼性の高い特許データベース(DWPI)を基盤とした、専門家向けの高度な特許検索・分析プラットフォームです[25](#)。

- 発明内容の迅速な理解: 専門アナリストが作成した、発明の「新規性」「用途」「優位性」を明確に記述した独自の抄録により、膨大な検索結果の中から重要な特許を迅速に把握できます[25](#)。
- 高度な先行技術調査: 300以上の検索可能フィールドや強力な検索演算子を駆使し、複雑な検索式を構築できます[25](#)。学術文献データベース「Web of Science」とも連携しており、非特許文献の調査も一気通貫で行えます[25](#)。
- 分析とインサイト抽出: 発明ファミリーごとに集約された引用情報や訴訟データなどを活用し、発明の起源や影響力を多角的に分析できます[25](#)。これにより、単なる先行技術調査に留まらず、競合の技術動向や自社の技術的優位性の評価

に繋がるインサイトを得られます。



Innography (Clarivate)

特許データに加えて、財務情報や訴訟データなどのビジネス情報を統合し、IPインテリジェンスの観点から発明の価値を評価・分析するツールです¹⁵。

- ポートフォリオ分析と発明抽出: 自然言語処理(NLP)技術を用いて、自社や競合の特許ポートフォリオを技術トピックごとに自動で分類・可視化します¹⁵。これにより、技術的な空白領域や注力分野を特定し、新たな発明の方向性を見出すことができます。
- 競合・技術動向の自動監視: 特定の技術分野や競合他社を設定しておくと、関連する新規出願があった場合に自動でアラートを受け取ることができます¹⁵。
- ダイナミックな可視化: 100種類以上のカスタマイズ可能なチャートやダッシュボード機能を備え、分析結果を直感的に理解し、経営層などのステークホルダーと容易に共有することができます¹⁵。

PatSnap

グローバルな特許データと市場分析データを組み合わせ、R&D戦略の策定を支援するプラットフォームです⁶。

- AIによるセマンティック検索: 自然言語で記述した技術内容に基づいて、AIが意味的に近い特許文献を世界中から検索します¹³。検索結果を関連度順に並び替える機能は、先行技術調査の効率を大幅に向上させます¹³。

- 多角的なデータ分析: 特許データだけでなく、非特許文献やバイオシーケンスデータなども横断的に調査・分析できます [27](#)。
- 戦略的インサイト: 競合他社のR&D動向、技術トレンド、市場機会などを可視化し、データに基づいたイノベーション戦略の立案をサポートします [6](#)。

機能比較と選定のポイント

発明抽出から提案書作成までを一気通貫で行うツールを選定する際には、利用者の専門レベルや主目的、予算などを考慮する必要があります。

機能/ツール	MyTokkyo.Ai	AI Samurai	ユアサポAI	Derwent Innovation	Innography	PatSnap
主な対象	研究者、技術者、知財担当者	発明者、知財担当者	弁理士、知財担当者	特許専門家、調査担当者	IPアナリスト、経営層	R&D部門、知財戦略担当
発明抽出	メモ・議事録のAI解析	アイデア評価、対話形式	発明提案書のAI解析	専門家作成の抄録	NLPによるポートフォリオ分析	-
調査機能	AI対話型検索	審査シミュレーション	-	高度なコンド検索	競合自動監視	AIセマンティック検索
文書作成	提案書フォーマット生成	明細書ドラフト自動生成	パーソナライズされた明細書生成	-	-	-
特徴	非専門家向けのUI/UX	審査シミュレーション	独自の文書学習、Word連携	高信頼性DWPIデータ	ビジネス情報との統合	市場分析データとの連携
提供国	日本中心	日本中心	日本	グローバル	グローバル	グローバル

選定のポイント

- ユーザーの専門レベル: 研究開発者が発明の初期段階で利用するなら「MyTokkyo.Ai」のような直感的なツールが、専門

家が厳密な調査を行うなら「Derwent Innovation」のような高機能ツールが適しています^{21 25}。

- 主目的: 発明の創出とアイデアの具体化が目的なら「AI Samurai」、高品質な明細書ドラフトの作成効率化が目的なら「ユアサポAI」が強みを発揮します^{2 26}。
- 業務フローとの親和性: 既存の文書作成ソフト(例: Microsoft Word)との連携を重視する場合は、「ユアサポAI」のようなアドイン型ツールが有効です²⁶。
- データカバレッジと分析深度: グローバルな権利化戦略や競合分析、M&Aにおける知財デューデリジェンスなど、深い分析が必要な場合は「Innography」や「PatSnap」が適しています^{6 15}。

結論と今後の展望

AIを活用し、発明抽出から提案書作成までを一気通貫で支援するツールは、知的財産業務のあり方を根本から変革するポテンシャルを秘めています。これらのツールは、専門家ののみならず、日々の研究開発に携わる技術者自身が、アイデア創出の段階から知財を意識し、その価値を評価・具体化するプロセスを強力に後押しします。

今後は、生成AIのさらなる高度化により、単にドラフトを作成するだけでなく、より戦略的なクレーム(権利範囲)の提案や、事業戦略と連動した知財ポートフォリオの構築支援など、より高度で付加価値の高い機能が実装されていくと予測されます。

企業や研究機関は、自社の課題や目的に合致したツールを戦略的に導入・活用することで、属人性を排し、知財創出のサイクルを高速化させることができます。これにより、技術的優位性を迅速に確保し、持続的な競争力を構築するための重要な基盤となるでしょう。

1. [Patentfield | AI特許検索・特許分析・特許調査データベース](#)
2. [特許申請支援システムの「株式会社AI Samurai」](#)
3. [Tokkyo.Ai](#)
4. [Online patent tools](#)
5. [【2025年版】EC一元管理システムおすすめ14選を徹底比較！](#)
6. [Best Patent Search Engines and Tools for Inventors](#)
7. [特許情報プラットフォーム | J-PlatPat【JPP】](#)
8. [「知財×AI」ツールと事例\(1\)～発明抽出から明細書作成まで](#)
9. [発明抽出と特許調査をもっと速く、簡単にーAIで日常に眠る...](#)
10. [Top Patent Search Tools Every Inventor Should Know](#)
11. [WEB制作事業の課題を解決した一気通貫ツールについて解説！](#)
12. [incoPat Reliable and User-friendly Global Patent Database ...](#)
13. [特許検索・特許調査ツールの比較まとめ | arisada](#)
14. [【お知らせ】新サービス「Toreru 特許」を正式リリース ...](#)
15. [Innography](#)
16. [The Best Patent Search and Analysis Tools for R&D Teams ...](#)
17. [データの収集から分析まで一気通貫で実現。日本企業 ...](#)

18. [Patent Search Made Simple: Easily Find Patents – XLSOUT](#)
19. [無料で使える特許調査ツールおすすめ4選 | 注意点や選び方も ...](#)
20. [オフライン生成AIで、進化続ける明細書生成](#)
21. [リーガルテック社、誰でも使えるAI特許支援『MyTokkyo.Ai』で ...](#)
22. [Mastering The Patent Search: A Step – by – Step Guide](#)
23. [【2025年最新】SFAおすすめツール10選 | 営業効率化・案件 ...](#)
24. [Databases for Finding Patents – Patents and Intellectual Property](#)
25. [Derwent Innovation 特許検索ソフトウェア | クラリベイト](#)
26. [ユアサポAI | 生成AIで特許出願書類作成の時間を大幅削減 ...](#)
27. [Patsnap\(パットスナップ\) | AIでイノベーションを加速](#)
28. [Understanding Top Prior Art Search Tools](#)
29. [おすすめリード管理ツール18選！効率化の方法や必要な機能](#)
30. [Engineering Research Guide: Patent Searching](#)
31. [国際・国内特許データベース検索](#)
32. [発明メモから特許出願までを高速化する『AIドラフト生成機能』を ...](#)
33. [【AI実務セミナー】生成 AIでここまでできる！発明抽出・特許 ...](#)
34. [Comprehensive Guide to Patent Search Tools – Orcellius](#)
35. [セールスイネーブルメントツール比較17選。目的別の選び方](#)
36. [特許検索ツール「CyberPatent Desk」](#)
37. [【知財業務は生成AIがサポートする時代へ】](#)
38. [Search for patents](#)
39. [リード獲得ツールの種類とおすすめ一覧 | 導入メリットから ...](#)
40. [【比較あり】特許分析ツールとは？具体例と活用方法を徹底解説](#)
41. [発明提案書生成AI](#)
42. [Patent Search Strategies for Startups and Inventors](#)
43. [徹底比較！AIリサーチツール8選【2025年最新版】精度・価格 ...](#)
44. [特許公報を検索してみましょう](#)
45. [ユアサポAI](#)
46. [Patent Resources on the Web and in the Engineering Library](#)
47. [ビジネスの生産性が格段に向上する、AIツール10選](#)
48. [Amplifiedで全く新しい特許調査を](#)
49. [How to Choose the Right Patent Search Tool: A 7 – Point ...](#)
50. [マーケティングツール10選！選び方のポイントも徹底解説](#)